

2021. 8. 22



報 告	祝 美 歌 二七	讚 美 歌 四三三	献 美 歌 四三三	祈 美 歌 四三三	説 美 歌 「関わる、つながる」 佐藤栄一 牧師	讚 美 歌 五〇五	聖 書 詩編一一編 9〜10 節 マルコによる福音書 5章 21〜34 節	祈 美 歌 二八	讚 美 歌 （使徒信条）	信 仰 告 白 （使徒信条）	交 誼 詩 編 一 二	主 の 祈 り 九三（5A）	讚 美 歌 四六七（1節のみ）	招 詞 イザヤ書 48章 17節	奏 樂 鈴木まり子 姉	† 聖 日 礼 拝 前11時
--------	-------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------------------------	--------------------	--	-------------------	-----------------------	----------------------------	-------------------------	----------------------------	--------------------------	------------------------	-------------------	-------------------------------

§ 今週の集会

臨時責任役員会 22日 礼拝後  
祈 禱 会 25日 水 後7時 （佐藤牧師）

\* 今日の会堂掃除（2・3F礼拝堂のみ）

礼拝後、有志でお願いします。どうぞよろしく  
お願いいたします。

※ 1Fホールと多目的室は使用した  
グループで、トイレは週末に有志で。

◆ 隠退教師を支える百円献金

いつでもお受けしています。

△ 礼拝当番▽

※ 神奈川県に緊急事態宣言が適用されてい  
る間は、役員が交替でいたします。

＊「緊急事態宣言」再発令中！

デルタ株の脅威と感染数の拡大を受け、神奈川県にも「緊急事態宣言」が適用されていますので、8月の役員で決めた、以下の対応を継続いたします。詳細は8月の役員会報告をお読みください。

① オンライン配信にあずかれる方は、自宅での礼拝を守ってください。

② それ以外の方のために「礼拝の場を確保する」一方、その人数を最小限に抑えることを目的として、六角橋アラート「レベル4」（3分割の分散礼拝）は継続します（22日は「神奈川区」・「東京」「埼玉・千葉」）。

※ 但し、コロナ禍のみならず、酷暑が続く中で熱中症の心配もあります。体調に少しでも不安がある方や、公共交通機関を利用する方、人流の多い場所を通る方、さらに県境を越えて移動される方は、出席を控えて下さい。出席される方は、必ずご家族の了解を得て下さい。

— なお、該当区分以外で出席を希望される方、また出席について何か迷われている方は、遠慮なく牧師にご相談ください。なお、教員以外の方は、それぞれの都合に合わせていらしてください。

＊ 個人消息（オンラインでは割愛）

◆ 茶封筒は22日までとなっていました。緊急事態宣言下のため、締め切りを9月19日まで延長します。

◆ 佐渡友哲兄呼びかけの署名活動「ミヤンマー軍の過酷な弾圧を今すぐ終わらせて！」も、8月15日までとなっていました。緊急事態宣言下ですので、期限を延長して集めます。教会にいらっしゃれたときに、ぜひどうぞ。

◆ 本日の午後には予定されていた日曜学校「ミニミニ夏期学校（幼小科）は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、残念ながら中止となりました。

◆ 19～22日に予定されていた、「八郎潟教会」との交流も中止となりました。このことを憶えて8月には自由募金を募る予定でしたが、こちらはクリスマスに改めて呼びかけたいと思います。

§ 前週の報告

	男	女	計	(求)	(献金)
聖日礼拝	7	12	19	(0)	一六一〇〇円
8/11祈禱会	4	4	8	(3)	
8/18祈禱会	3	6	9	(0)	

※オンラインでは割愛)

〒221-0802

横浜市神奈川区六角橋一の二六の八

○四五(四三三)〇六九四

FAX(四三三)〇一九四

郵便振替口座00250・2・979

日本基督教団 六角橋教会

9 主は御自分の民に贖いを送り

契約をとこしえのものと定められた。

御名は畏れ敬うべき聖なる御名。

10 主を畏れることは知恵の初め。

これを行う人はすぐれた思慮を得る。

主の賛美は永遠に続く。

21 イエスが舟に乗って再び向こう岸に渡られると、大勢の群衆がそばに集まって来た。イエスは湖のほとりにおられた。

22 会堂長の一人でヤイロという名の人が来て、イエスを見ると足もとにひれ伏して、

23 しきりに願った。「わたしの幼い娘が死にそうです。どうか、おいでになつて手を置いてやつてください。そうすれば、娘は助かり、生きるでしょう。」

24 そこで、イエスはヤイロと一緒に出かけ、行かれた。大勢の群衆も、イエスに従い、押し迫つて来た。

25 さて、ここに十二年間も出血の止まらない女がいた。

26 多くの医者にかかつて、ひどく苦しめられ、全財産を使い果たしても何の役にも立たず、ますます悪くなるだけであつた。

27 イエスのことを聞いて、群衆の中に紛れ込み、後ろからイエスの服に触れた。

28 「この方の服にでも触れればいやしていた

だける」と思ったからである。

29 すると、すぐ出血が全く止まって病気がいやされたことを体感じた。

30 イエスは、自分の内から力が出て行ったことに気づいて、群衆の中で振り返り、「わたしの服に触れたのはだれか」と言われた。

31 そこで、弟子たちは言った。「群衆があなたに押し迫っているのがお分かりでしょう。それなのに、『だれがわたしに触れたのか』とおっしゃるのですか。」

32 しかし、イエスは、触れた者を見つけようと、辺りを見回しておられた。

33 女は自分の身に起こったことを知って恐ろしくなり、震えながら進み出てひれ伏し、すべてをありのまま話した。

34 イエスは言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。もうその病気にかからず、元気に暮らさなさい。」